

小川裕充教授 履歴・主要著作目録

平成25年 3 月

小川裕充教授 略歴

- 1961年（昭和36年）3月 私立四条畷学園小学校卒業
- 1963年（昭和39年）3月 私立四条畷学園中学校卒業
- 1967年（昭和42年）3月 大阪府立高津高等学校卒業
- 1967年（昭和42年）4月 東京大学教養学部文科1類入学
- 1969年（昭和44年）12月 東京大学教養学部教養学科科学史科学哲学分科進学
- 1973年（昭和48年）3月 同学科卒業
- 1973年（昭和48年）4月 教養学部研究生
- 1974年（昭和49年）4月 東京大学大学院人文科学研究科
美術史学専門課程修士課程進学
- 1977年（昭和52年）4月 同博士課程進学
- 1979年（昭和54年）6月 東京大学東洋文化研究所助手（美術史考古学部門）
- 1982年（昭和57年）4月 東北大学文学部助教授（東洋日本美術史研究室）
- 1987年（昭和62年）4月 東京大学東洋文化研究所助教授（東アジア美術研究室）
- 1990年（平成2年）5月 ハイデルベルク大学藝術史研究所客員教授
（－同年7月）
- 1992年（平成4年）12月 東京大学東洋文化研究所教授（東アジア美術研究室）
- 1993年（平成5年）9月 北京日本学研究中心客員教授（－同年12月）
- 2005年（平成17年）6月 東京大学東洋文化研究所東洋学研究情報センター長

(-09年・平成21年3月)

現在に至る。

美術史学会代表委員 2000年(平成12年)6月—2003(平成15年)6月

同「美術史」編集委員 1999年(平成11年)6月—2000年(平成12年)6月

同常任委員 1999年(平成11年)6月—2003年(平成15年)6月

2006年(平成18年)6月—2008年(平成20年)6月

東洋文庫客員研究員 (平成18年10月1日—現在に至る)

東方学会理事 2003年(平成15年)9月7日

—2009年(平成21年)9月7日(第29・30・31期)

同評議員 1997年(平成9年)9月7日

—2003年(平成15年)9月7日(第26・27・28期)

同国際東方学者会議運営委員 2001年(平成13年)2月22日

—2005年(平成17年)9月7日(第27・28・29期)

国華(朝日新聞社)編集委員 2000年(平成12年)4月1日—

美術史論壇 第7号(韓国美術研究所)編輯諮問委員 1999年

美術史研究集刊 第6期(国立台湾大學藝術史研究所)編輯委員 1999年3月

東京文化財研究所主催「平成14年度文化財の保存及び修復に関する国際研究集

会：うごくモノ—時間・空間・コンテクスト—」組織委員会専門委員(2002年2月18日—12月6日)

主催国際シンポジウム参加

2001年(平成13年)5月18日「第46回国際東方学者会議」(東方学会)

2002年(平成14年)5月17日「第47回国際東方学者会議」(東方学会)

2002年(平成14年)12月4日—6日

「平成14年度文化財の保存及び修復に関する国際研究集会」(東京文化財研

究所)

- 2003年（平成15年）5月16日 「第48回国際東方学会議」（東方学会）
2004年（平成16年）5月21日 「第49回国際東方学会議」（東方学会）
2005年（平成17年）5月20日 「第50回国際東方学会議」（東方学会）
2006年（平成18年）5月19日 「第51回国際東方学会議」（東方学会）
2007年（平成19年）5月18日 「第52回国際東方学会議」（東方学会）

国際シンポジウム参加

- 1985年5月20日—22日 Crawford コレクション受贈記念シンポジウム
“Words and Images : Chinese Poetry, Calligraphy and Painting”
(Department of Asian Art, The Metropolitan Museum of Art, New York)
- 1996年5月10日—12日
「中華瑰寶——台北故宮博物院の収蔵」訪米展記念シンポジウム
Arts of the Sung and Yüan
(Department of Asian Art, The Metropolitan Museum of Art, New York)
- 2002年（平成14年）3月9日 「美術史から九州を考える——周縁・中央・東
アジア」
(九州大学大学院人文科学研究院藝術学研究室)
- 2002年11月29日—12月1日
上海博物館建館50周年記念「千年遺珍国際学術研討會」（上海博物館）
- 2003年11月21日—23日
「天子之寶——台北故宮博物院の収蔵」訪独展記念シンポジウム
Art in China : Collections and Concepts
(Kunsthistorisches Institute, Universität Heidelberg)
- 2004年4月3日—4日 Bahnhart 教授退休記念コンファレンス
“Song Painting and Its Legacy”

東洋文化研究所紀要 第163冊

(The Council of East Asian Studies, Yale University)

2007年2月5日—8日

故宮博物院創立80周年記念「開創典範：北宋藝術与文化研討会」

Conference on Founding Paradigms :

The Art and Culture of the Northern Sung Dynasty

(國立故宮博物院)

展覧会企画共催

五島美術館主催「牧谿——憧憬の水墨画」展 1996年10月26日(土)

—11月24日(日)

千葉市美術館主催「天津市藝術博物館展」 2003年10月11日(土)

—11月24日(月)

小川裕充教授

業績一覧

編著書

- 1981 『海外所在中国絵画目録（東南アジア・ヨーロッパ編）』（鈴木敬氏他と共編）東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター叢刊別輯3，109頁。
- 1982 『日本所在中国絵画目録（寺院編）』（戸田禎佑氏他と共編）東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター叢刊別輯4，69頁。
- 1982 『日本所在中国絵画目録（博物館編）』（戸田禎佑氏他と共編）東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター叢刊別輯6，96頁。
- 1982 『中国絵画総合図録』（鈴木敬氏に協力）東京：東京大学出版会，—83，全5巻，総2487頁。
- 1983 『中国の花鳥画と日本』（戸田禎佑氏と共編著）学習研究社，169頁。
- 1992 『海外所在中国絵画目録 改訂増補版（ヨーロッパ編）』（戸田禎佑氏他と共編）東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター叢刊別輯17，103頁。
- 1994 『海外所在中国絵画目録 改訂増補版（アメリカ・カナダ編）上・下』（戸田禎佑氏他と共編）東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター叢刊別輯18・19，128頁・215頁。
- 1996 『牧谿 憧憬の水墨画』（企画執筆）東京：五島美術館，180頁。
- 1997 『海外所在中国絵画目録 改訂増補版（東アジア編）』（鈴木廣之氏他と

共編) 東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター叢刊別輯21,
123頁。

- 1997 『週刊朝日百科 日本の国宝 18号 京都／大徳寺』(編著) 東京：朝日新聞社, 33頁。
- 1997 『故宫博物院 1 南北朝——北宋の絵画』(監修・執筆) 東京：NHK出版, 89頁。
- 1998 『日本所在中国絵画目録 続編』(藤田伸也氏他と共編) 東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター叢刊別輯22, 135頁。
- 1998 『故宫博物院 2 南宋の絵画』(監修・執筆) 東京：NHK出版, 93頁。
- 1998 『故宫博物院 3 元の絵画』(監修・執筆) 東京：NHK出版, 89頁。
- 1998 『故宫博物院 4 明の絵画』(監修・執筆) 東京：NHK出版, 89頁。
- 1998 『世界美術大全集 東洋編 5 五代・北宋・遼・西夏』(弓場紀知氏と共編著) 東京：小学館, 460頁。
- 1998 『中国絵画総合図録 続編』(戸田禎佑氏と共編) 東京：東京大学出版会, 全4巻, 総1569頁。
- 1999 『故宫博物院 5 清の絵画』(監修・執筆) 東京：NHK出版, 89頁。
- 2003 『天津市藝術博物館展』(監修・執筆) 千葉：千葉市美術館, 201頁。
- 2008 『臥遊 中国山水画——その世界』 東京：中央公論美術出版, 438頁。
- 1998 『舊詩帖』私家版, 91頁。
- 2004 『慶雲 小川勝正全歌集』(共編) 東京：砂子屋書房, 275頁。

論文・詩文

- 1980 「華北と江南——中国絵画史の図式」『週刊朝日百科 世界の美術 94号 五代・宋時代の絵画と書』10-87-10-95頁。
- 1980 「唐宋山水画史におけるイマジネーション (上) (中) (下)」『国華』東

- 京：国華社，1034・1035・1036号，5－17頁，35－45頁，25－36頁。
- 1980 「郭熙筆 早春図」『国華』1035号，14－19頁。
- 1981 「雲山図論——米友仁「雲山図巻」について」『（東京大学）東洋文化研究所紀要』86冊，279－336頁。
- 1981 「院中の名画——董羽・巨然・燕肅から郭熙まで——」『鈴木敬先生還暦記念 中国絵画史論集』東京：吉川弘文館，23－85頁（2007その他「院中名画」——従董羽，巨然，燕肅到郭熙——）の日本語原文。
- 1984 「近世初期画壇における伝統と創造——特に中国的伝統の把握とその再解釈をめぐって 俵屋宗達の場合——」『美術史学』仙台：東北大学美学美術史研究室，第6号，79－83頁。
- 1984 「江南山水画の空間表現について——董源・巨然・米友仁——」『アジアにおける山水表現』京都：国際交流美術史研究会，56－60頁。
- 1986 「雲山図論続稿（上）（下）——米友仁「雲山図巻」とその系譜」『国華』1096・1097号，5－28頁・31－59頁。
- 1987 「壁画における〈時間〉とその方向性——慶陵壁画と平等院鳳凰堂壁扉画」『美術史学』第9号，37－64頁。
- 1988 「牧谿——古典主義の変容（上）」『美術史論叢』4，95－111頁。
- 1989 「大仙院方丈襖絵考（上）（中）（下）」『国華』1120・1121・1122号，13－30頁・33－49頁・9－19頁。
- 1989 「聚光院方丈の創建年代について」『美術史論叢』5，45－55頁。
- 1989 「台北故宮博物院の収蔵——中国絵画鑑蔵史序説——」『季刊 墨スペシャル創刊号 台北故宮博物院の書』東京：藝術新聞社，191－195頁。
- 1989 「泉涌寺蔵 俊苧律師・南山大師・大智律師像（三幅）」山根有三先生古稀記念会編『日本絵画史の研究』吉川弘文館，67－108頁。
- 1990 *Japanese Studies on Asian Fine Arts : 1973-1983*, Tokyo : The Centre for East Asian Cultural Studies, pp.22.

- 1991 「明画続録小考——相国寺蔵 文正筆 鳴鶴図（対幅）と関連して——」
『美術史論叢』 7, 19-30頁。
- 1991 「李公年筆山水図」（小田島俊氏と共著）『美術史学』第13号, 79-84頁。
- 1991 “The Relationship between Landscape Representations and Self-
Inscriptions in the Works of Mi Yu-jen” Alfreda Murck & Wen C. Fong
eds. *Words and Images : Chinese Poetry, Calligraphy and Painting*, New
York : The Metropolitan Museum of Art and Princeton : Princeton
University Press, pp.123-140.
- 1992 「薛稷六鶴図屏風考——正倉院南倉宝物漆櫃に描かれた草木鶴図につい
て——」『（東京大学）東洋文化研究所紀要』117冊, 179-214頁。
- 1992 “Sinoiserie around Japonaserie : A Study of Japonaserie : Oiran (after
Keisai Eisen) by Vincent van Gogh” 『美術史論叢』 8, 111-127頁。
- 1992 「李唐筆万壑松風図・高桐院山水図——その素材構成の共通性について」
『美術史論叢』 8, 57-70頁。
- 1992 「黄筌六鶴図壁画とその系譜（上）（下）」『国華』1165・1297号,
—03 7-22頁・7-25頁。
- 1992 「中国絵画——東アジア国際様式の消長」『日本美術全集 12 水墨画と
中世絵巻 南北朝・室町の絵画 I』講談社, 194-201頁。
- 1993 「相国寺蔵 文正筆 鳴鶴図（対幅）（上）（中）（下）」『国華』
—94 1166・1181・1182号, 5-17頁・3-8頁・22-32頁。
- 1995 「武元直の活躍年代とその制作環境について」『美術史論叢』11, 67-75
頁。
- 1995 「大仙院方丈の所謂「増築」問題について」『美術史論叢』11, 93-106頁。
- 1996 「徽宗筆 瑞鶴図巻」『美術史論叢』12, 129-137頁。
- 1996 “The Continuity of Spatial Composition in Sung and Yuan Landscape
Painting” Maxwell K. Hearn & Judith G. Smith eds. *Arts of the Sung and*

Yuan (The Metropolitan Museum of Art, New York), pp.339-366.

- 1997 「牧谿筆瀟湘八景図巻の原状について」『美術史論叢』13, 111-117頁。
- 1997 「山水・風俗・説話——唐宋元代中国絵画の日本への影響」『日中文化交流史叢書 [7] 藝術』大修館書店, 2-50頁。(2005その他「山水, 風俗, 叙事——唐, 宋, 元代中国絵画对日本的影響」の日本語原文)
- 1997 「大徳寺の歴史と美術」『週刊朝日百科 日本の国宝 18号 京都/大徳寺』(編著) 東京: 朝日新聞社, 6-226・-233
- 1998 「書画と美術」『美術史論叢』14, 157-166頁。
- 1999 「乾隆帝の四名巻」『故宮博物院 15 乾隆帝のコレクション』東京: NHK 出版, 66-69頁。
- 1999 “The Chinese Painter Muqi” in *Memoirs of the Research Department of The Toyo Bunko* No.57, The Toyo Bunko, Tokyo, pp.33-59.
- 2000 「北宋時代の神御殿と宋太祖・仁宗坐像について」『国華』1255号, 17-29頁
- 2000 「日本에서의 中國繪畫史 研究動向과 그展望——宋元代를 中心으로」
「日本における中国絵画史研究の動向とその展望——宋元時代を中心に」
『美術史論壇』10, ソウル: 韓国美術研究所, 11-69頁。
- 2001 「中国絵画の古典性とは? ——日本絵画史にとってのそれを中心に」『美術フォーラム21』第4号, 44-46頁。
- 2001 「書画総論」「画論」『中国思想文化事典』東京: 東京大学出版会, 451頁, 455-458頁。
- 2001 「ヨーロッパでも 日本でもない インドでもない 中国の絵画とは」
『アジアを知れば 世界が見える』東京: 小学館, 148-161頁
- 2002 「雪舟——東アジアの僧侶画家」『国華』1276号, 33-43頁。
- 2002 「『中国絵画総合図録』『同 続編』の刊行に寄せて——著録の歴史の流れの中で」『美術史論叢』18, 111-119頁 (1982『出版ダイジェスト』

1032号所収論文の改訂版)。

- 2002 「四方の大地 四季の風光——環日本海美術の千年紀」『日本海学の新世紀 2 環流する文化と美』東京：角川書店飛鳥企画，87-96頁。
- 2003 「美術史学における研究とは？——大学と美術館・博物館との学术交流について」『美術史論叢』19，132-127頁（その他2003「美術史学における研究とは？」の全文）。
- 2003 「書画のアジア 彫刻のアジア 建築のアジア 美術のアジア——アジア美術とアイデンティティー 序説」『アジア学の将来像』東京：東京大学出版会，485-512頁。
- 2004 「応挙が求め続けたもの——人類美術の視座」『藝術新潮』2月号，76-80頁。
- 2004 「『美術叢書』の刊行について——ヨーロッパの概念“Fine Arts”と日本の訳語「美術」の導入」『美術史論叢』20，33-54頁，2004年2月。
- 2005 「従燕文貴作品中的透視遠近法看中国山水画透視遠近法之成立」『故宮學術季刊』台北：国立故宮博物院，第23卷第1期，241-266頁。
- 2006 “Lines or Planes : Painterly expression in the Five Dynasties and Song Dynasty”『美術史論叢』22，100-114頁。
- 2006 「「五代・北宋の絵画」特輯に当たって」「五代・北宋の絵画——伝統中国の歴史的・文化的アイデンティティーの淵源」「燕文貴筆 溪山楼観図」『国華』1329号，2頁，23-32頁，46-47頁，2006年7月。
- 2006 「中国山水画的透視遠近法——論郭熙山水画」上海博物館編『千年遺珍 國際學術研討會 論文集』上海：上海書畫出版社，2006年12月，253-262頁。（その他2003「中国山水画的透視遠近法——郭熙のそれを中心に」の中国語正文）
- 2008 「宋代の用絹法について——両宋歴代皇帝坐像を中心に」『美術史論叢』24，73-80頁，2008年3月。

- 2008 「五代・北宋絵画的透視遠近法——中国伝統絵画的規範」『開創典範：北宋的藝術与文化研討會論文集』台北：国立故宮博物院，139-175頁，2008年7月。（その他2009「五代・北宋絵画の透視遠近法——伝統中国絵画の規範」の中国語正文）
- 2008 「李郭派の系譜」『崇高なる山水——中国・朝鮮，李郭派山水画の系譜』奈良：大和文華館，7-12頁，2008年10月。
- 2009 「水墨画と着色画——その世界観・素材美」『筆墨の美 水墨画——静嘉堂の水墨画名品選』東京：静嘉堂文庫美術館，6-16頁，2009年10月。
- 2010 「中国山水画の透視遠近法——燕文貴のそのの成立まで」『美術史論叢』26

その他

- 1989 「パーティー」『ひしょう ひしょう15周年文集』ひしょう（新宿ゴールデン街），26-27頁。
- 1995 「淡青評論 対月憶元九」『学内広報』No.1012，1995年2月13日，8頁
- 1979 「94 浦上玉堂 東雲飾雪図」『日本絵画百選』東京：日本経済新聞社。
- 1980 「范寛 谿山行旅図」「李氏 瀟湘臥遊図巻」「荆浩 雪景山水図」「董源 寒林重汀図」「顧閔中 韓熙載夜宴図巻」「李成 喬松平遠図」「李成 晴巒蕭寺図」「許道寧 秋山蕭寺図巻」「許道寧 秋江漁艇図巻」「燕文貴 江山樓觀図巻」「郭熙 早春図」「趙令穰 秋塘図」「李公年 山水図」「米友仁 雲山図巻」「張昞端 清明上河図巻」「江參 林巒積翠図巻」「馬和之 毛詩図巻」「李山 山水図」「牧谿 漁村夕照図」「玉潤 廬山図」「牧谿 觀音猿鶴図」『週刊朝日百科 世界の美術 94号 五代・宋時代の絵画と書』。
- 1980 「徐渭 花卉雜画巻」「劉世儒 墨梅図」「周臣 煙靄秋涉図」「唐寅 南

- 遊図巻」「仇英 桃李園図」『週刊朝日百科 世界の美術 97号 明時代の絵画と書』。
- 1980 「欧米の中国美術コレクション4 ハーバード大学フォッグ美術館・プリンストン大学美術館」『週刊朝日百科 世界の美術 100号 清時代の工藝』。
- 1982 「中国絵画総合図録の刊行に寄せて——〈著録〉の歴史の流れの中で」『出版ダイジェスト』1032号
- 1984 「南宋 趙孟堅 水仙図巻」『哲学の迷路』産業図書
- 1984 「閻立本」「王庭筠」「界画」『平凡社 新版 大百科事典』2。
- 1984 「郭忠恕」「韓幹」「韓熙載夜宴図」「翰林図画院」『平凡社 新版 大百科事典』3。
- 1984 「仇英」「胸中丘壑」「琴棋書画」「形似」『平凡社 新版 大百科事典』4。
- 1984 「古画品録」『平凡社 新版 大百科事典』5。
- 1985 「山水画」『平凡社 新版 大百科事典』6。
- 1985 「周臣」「周文矩」「周昉」「徐渭」「女史箴図」『平凡社 新版 大百科事典』7。
- 1985 「帝王図」「唐朝名画録」『平凡社 新版 大百科事典』10。
- 1985 「潑墨」「破墨」『平凡社 新版 大百科事典』11。
- 1985 「洛神賦図」『平凡社 新版 大百科事典』15。
- 1985 「五代・宋時代における江南山水画の山水表現について」『美術史』117号（第37回美術史学会全国大会研究発表要旨）。
- 1986 「米友仁の絵画と文学——その山水表現と自題との関連について」『美術史学』8号（1991 “The Relationship between Landscape Representations and Self-Inscriptions in the Works of Mi Yu-jeu” の日本語原稿）。
- 1987 「序」（編集刊行委員会名・戸田禎佑氏と共同執筆）『島田修二郎著作集 1 日本絵画史研究』東京：中央公論美術出版。

- 1989 「宋元の山水画 十選——江南画の系譜 1 (伝)董源 寒林重汀図」
「2 郭熙 早春図」「3 米友仁 雲山図」「(伝)牧谿 漁村 夕照図」
「4 (伝)巨然 蕭翼賺蘭亭図」「5 李氏 瀟湘臥遊図」「6 趙孟頫
水村図」「7 高克恭 雲橫秀嶺図」「8 呉鎮 漁父図」「9 黄公望
富春山居図」「10 方從義 雲山深处図」『日本経済新聞』5月16日—20
日, 23日—25日, 29日—30日朝刊。
- 1989 「中国山水画百選 始めに」「1 郭熙 早春図」『東方』東京:東方書店,
104号—105号。
- 1990 「2 (伝)董源 寒林重汀図」「3 米友仁 雲山図巻」「4 牧谿 漁
村夕照図(瀟湘八景図断簡)」「5 玉潤 山市晴嵐図(瀟湘八景図断簡)」
「6 (伝)李成 喬松平遠図」「7 (伝)荆浩 匡廬図」「8 葉茂台遼
墓出土山水図」「9 (伝)関仝 秋山晚翠図」「10 岷山晴雪図」「11
范寛 谿山行旅図」「12 (伝)巨然蕭翼賺蘭亭図」「13 燕文貴 江山
楼觀図巻」『東方』106号—117号。
- 1990 「壁画中的「時間」及其方向性」(1987「壁画における<時間>とその方
向性——慶陵壁画と平等院鳳凰堂壁扉画」の中国語訳)『藝術学』台北:
藝術家出版社, 第4期, 275—298頁。
- 1990 「パネルディスカッション 狩野派における創造性」『狩野派の巨匠たち
展 シンポジウム報告書』静岡:静岡県立美術館。
- 1991 「14 夏秋冬山水図(四季山水図残三幅)」「15 慶陵中室四季山水図壁画」
「16 (伝)趙令穰 秋塘図」「17 (伝)王詵 煙江暈嶂図巻」「18 李
公年 山水図」「19 武元直 赤壁図巻」「20 (伝)趙伯駒 江山秋色
図巻」「21 (伝)許道寧 秋江漁艇図巻」「22 張昞端 清明上河図巻」
「23 喬仲常 後赤壁賦図巻」「24 (伝)顧愷之 洛神賦図巻(部分)」
「25 (伝)展子虔 遊春図巻」『東方』118号—129号。
- 1991 「日本における東洋学の動向とその展望 1973—1985 美術史(アジア

- 編)』(1990 *Japanese Studies on Asian Fine Arts : 1973-1983*の日本語原稿)『秋山光和博士古稀記念美術史論文集』京都・東京：便利堂, 515-533頁。
- 1992 「26 唐懿德太子墓墓道儀仗図壁画(部分)」 「27 敦煌莫高窟第三二一窟宝雨經变相壁画(部分)」 「28 敦煌莫高窟第四四五窟北壁弥勒上下生經变相壁画(部分)」 「29 騎象奏楽図(楓蘇芳染螺鈿槽琵琶捍撥)」 「30 信貴山縁起絵卷(延喜加持卷)」 「31 李唐 山水図(対幅)」 「32 李氏瀟湘臥遊図卷」 「33 王洪 瀟湘八景図卷」 「34 趙伯驩 万松金闕図卷」 「35 馬遠 西園雅集図卷(春遊賦詩図卷)」 「36 夏珪 風雨山水図团扇」 「37 李嵩 西湖図卷」 『東方』130号—141号。
- 1993 「38 梁楷 雪景山水図」 「39 馬麟 芳春雨霽図冊頁」 「40 (伝) 李山松杉行旅図」 「41 (伝) 江参 林巒積翠図卷」 「42 趙孟頫 水村図卷」 「43 高克恭 雲横秀嶺図」 「44 錢選 山居図卷」 「45 曹知白 群峰雪霽図」 「46 朱德潤 林下鳴琴図」 「47 唐棣 傲郭熙秋山行旅図」 「48 姚廷美 有余間図卷」 「49 羅稚川 雪江図」 『東方』142号—153号。
- 1993 「陳容筆 雲龍図」 「(伝) 牧谿筆 蘿蔔燕菁図」 『皇室の至宝 13 御物別卷 中国美術』 毎日新聞社。
- 1993 「編集後記」 (編集刊行委員会名・戸田禎佑氏と共同執筆) 『島田修二郎著作集 2 中国絵画史研究』 中央公論美術出版, 551-552頁。
- 1993 「訃報 米澤嘉圃名誉教授」 (東洋文化研究所名) 『学内広報』 No.963, 1993年9月13日。
- 1994 「50 李容瑾 漢苑図」 「51 黄公望 富春山居図卷」 「52 呉鎮漁父図」 「53 倪瓚 容膝齋図」 「54 王蒙 具区林屋図」 「55 冷謙 白岳図」 「56 四睡図」 「57 (伝) 王振鵬 唐僧取經図冊(明顕国降大羅真人図)」 「58 孫君沢 雪景山水図」 「59 盛懋 山居納涼図」 「60 方從義 雲山図卷」 『東方』154号・156号—165号。

- 1994 「特集◎中国文化を読む279冊 臨濟録」『月刊しにか』50号, 18頁。
- 1995 「61 趙原 合谿草堂図」「62 陳汝言 羅浮山樵図」「63 王履華山図冊(玉泉院図)」「64 王紱 秋林隱居図」「65 戴進春冬山水図(二幅)」「66 李在 婦去来兮図卷(雲無心以出岫図)」「67 安堅 夢遊桃源図卷」「68 雪舟 天橋立図」「69 石鋭 探花図卷」「70 呉偉 漁楽図」「71 呂文英 風雨山水図」「72 鍾礼 觀瀑図」『東方』166号—177号。
- 1995 「日本の東方美術研究近況」『美術史論』北京:中国藝術研究院, 1995年第2期, 68-75頁(1991「日本における東洋学の動向とその展望1973-1985 美術史(アジア編)」の中国語訳)。
- 1995 「徽宗筆 瑞鶴図卷——東アジア花鳥画史におけるその史的位罫」『出版ダイジェスト』第1576号(1995年9月30日)(1996「徽宗筆瑞鶴図卷」の原本)。
- 1996 「73 王誥 江閣遠眺図」「74 朱端 山水図」「75 王世昌 松陰書屋図」「76 張路 道院馴鶴図」「77 蔣嵩 四季山水図卷(秋景山水図)」「78 史忠 晴雪図卷」「79 沈周 廬山高図」「80 文徵明 雨餘春樹図」「81 周臣 北溟図卷」「82 唐寅 山路松声図」「83 仇英 仙山樓閣図」「84 謝時臣 華山仙掌図」『東方』178号—189号。
- 1996 「日曜美術館 雪舟・天橋立にたつ」(中島純司氏他と共演)NHK教育テレビ7月14日。
- 1996 「中国画家・牧谿」『牧谿 憧憬の水墨画』五島美術館, 91-101頁(1999「The Chinese Painter Muqi」の日本語原本。英文は注などを補訂)。
- 1996 「観音猿鶴図」「豊干・柳燕・竹雀図」「平沙落雁図・漁村夕照図・煙寺晚鐘図・遠浦帰帆図・江天暮雪図・洞庭秋月図・瀟湘夜雨図」「龍虎図」「龍虎図(咸淳己巳牧谿)」「芙蓉図」「蘿蔔燕菁図」『牧谿 憧憬の水墨画』。
- 1996 「唐宋元代中国絵画到日本の影響」『中日文化交流史大系〔7〕芸術卷』杭州:浙江人民出版社, 1-32頁(1997「山水・風俗・説話——唐宋元

代中国絵画の日本への影響」の中国語版)。

- 1997 「85 陸治 仙山樓閣図」「86 文嘉 琵琶行図」「87 文伯仁 四万山水図(四幅)」「88 錢穀 虎邱図」「89 丁雲鵬 玄扈出雲天都暎日図」「90 李士達 竹裡泉声図」「91 董其昌 青弁図」「92 米万鐘 寒林訪客図」「93 吳彬 歲華紀勝図冊(登高図)」「94 張瑞図 山水図」「95 張宏 棲霞山図」「96 趙左 竹院逢僧図」『東方』190号—202号。
- 1997 「宋元山水画における構成の伝承」『美術史論叢』13, 1—40頁(1996 “The Continuity of Spatial Composition in Sung and Yuan Landscape Painting”の日本語原文)。
- 1998 「97 王建章 雲嶺水声図」「98 藍瑛 萸目喬松図」「99 黄道周松石図卷」「100 陳洪綬 宣文君授經図」『東方』203号—206号。
- 1998 「序」(有賀祥隆・河野元昭氏と連名)『福井利吉郎美術史論集 上』中央公論美術出版。
- 1998 「海外及び日本所在中国絵画目録・中国絵画総合図録第二期分刊行に寄せて」『東京大学東洋文化研究所・東洋学文献センター報 センター通信』No.38, 1998.3月。
- 1998 「『書画』와 『美術』」『美術史論壇』7 (1998 「『書画』と『美術』」の韓国語訳)。
- 1999 「中巻解題」『福井利吉郎美術史論集 中』中央公論美術出版, 551—562頁。
- 1999 「101 崔子忠 杏園送客図」「102 俵屋宗達 松島図屏風」「103 蕭雲從 山水清音図卷(部分)」「104 王時敏 傲黄公望山水図」「105 王鑑 傲黄公望煙浮遠岫図」「106 王翬 溪山紅樹図」「107 王原祁 華山秋色図」『東方』220号—226号。
- 1999 「クイズ日本人の質問 空前絶後 解説」NHK テレビ8月1日。
- 1999 「クイズ日本人の質問 張僧繇でも画けなかったもの 解説」NHK テレ

ビ9月12日。

- 2000 「108 呉歴 白傳滄江図巻」「109 惲寿平 花塢夕陽図巻」「110 ヤン・フェルメール デルフトの眺望」「111 八大山人 安晩帖(山水図)」「112 石涛 黄山八勝図冊(鳴絃泉・虎頭岩図)」「113 石谿 報恩寺図」「114 漸江 江山無尽図巻(部分)」「115 查士標 桃源図巻(部分)」「116 戴本孝 文珠院図」「117 梅清 九龍潭図」「118 龔賢 千巖万壑図」「119 法若真 山水図」『東方』227号—238号。
- 2000 「編集後記」『福井利吉郎美術史論集 下』中央公論美術出版, 695-697頁。
- 2000 「東洋文化研究所ロゴ・マーク」『学内広報』No.1194, 2000年7月24日(東洋文化研究所名)。
- 2001 「120 黄鼎 群峰雪霽図」「121 袁江・王雲 樓閣山水図屏風」「122 郎世寧 百駿図巻」「123 錢維城 棲霞全図」「124 月令図十二月)」「125 黄慎 山水墨妙図冊」「126 華岳 秋声賦意図」「127 金農 墨梅図(四幅)」「128 鄭燮 遠山煙竹図(四幅)」「129 張峯 仿古山水図冊」「130 錢杜 燕園十六景図冊」「131 鄭敫 金剛山図」『東方』239号—250号。
- 2001 “Toward New Research on Asia” in *UT Forum 21* No.1, January (無署名)。
- 2001 「日本における中国絵画史研究の動向とその展望——宋元時代を中心に」『美術史論叢』17 (2000「日本에서의 中國繪畫史 研究動向과 그展望——宋元代를 中心으로」)「日本における中国絵画史研究の動向とその展望——宋元時代を中心に」の日本語部分校正版)。
- 2001 「『美術史第一五〇冊記念別冊』刊行に寄せて」『美術史』東京：美術史学会, 150号別冊(総目録No.1-No.150 1950-2001), 3月31日, p.3。
- 2001 「国宝探訪 大気よ 光よ あこがれの地よ——牧谿・瀟湘八景図——」NHK教育テレビ6月30日。
- 2001 「テーブルトーク 中国絵画を1万点網羅 半世紀の調査を橋渡し」(山

盛英司氏によるインタビュー記事) 朝日新聞夕刊 7月24日。

- 2001 「半世紀をかけた中国絵画の資料収集」『月刊 本の窓』東京：小学館，2001年12月号
- 2002 「132 浦上玉堂 東雲篩雪図」「133 蘇仁山 賈島詩意山水図」「134 任熊十萬図冊」「135 戴熙 春景山水図（八幅）」「136 ジャクソン・ポロック One：Number 31, 1950」「中国山水画百選 終わりに」『東方』251・257号—261号。
- 2003 「美術史学における研究とは？——大学と美術館・博物館との学術交流について」『学術の動向』第8巻第1号（2003年1月1日），日本学術協力財団（論文2003「美術史学における研究とは？」の要約）。
- 2003 「中国山水画の透視遠近法——郭熙のそれを中心に」『美術史論叢』19，63—70頁（その他2005「中国絵画的透視遠近法——論郭熙山水画」，論文2006「中国山水画的透視遠近法——論郭熙山水画」の日本語原文）。
- 2003 「From RESEARCH ROOM 四方四季障壁画」『FROM KOZU 大阪府立高津高等学校同窓会報』8，2003年3月25日，大阪府立高津高等学校同窓会。
- 2003 「玄関ロビーを学外者に開放：絵画展を開催」『週刊東京大学新聞』東京大学新聞社，2003年4月15日。
- 2003 「東洋文化研究所玄関ホール」『学内広報』No.1265（2003年6月11日）「淡青評論」
- 2004 Chairpersons' Reports：Asian Art History Session, *Transactions of the International Conference of Eastern Studies*, Tokyo：The Tôhō Gakkai (The Institute of Eastern Studies). No. XLIX, December, 2004.
- 2005 「趙孟頫「水村図巻」——故宮の至宝」『日中文化交流』東京：日中文化交流協会，No.706（臨時増刊）（2005年6月5日），2頁。
- 2005 「中国絵画的透視遠近法——論郭熙山水画」『新美術』杭州：中国美術学

- 院出版社，2005年一第2期，61-65頁（その他2003「中国山水画の透視遠近法——郭熙のそれを中心に」の中国語訳）。
- 2005 「山水，風俗，叙事——唐，宋，元代中国絵画对日本的影響」『故宫文物月刊』台北：国立故宫博物院，第23卷第5・6・7期，80-99頁・64-75頁・58-67頁（論文1997「山水・風俗・説話——唐宋元代中国絵画の日本への影響」の中国語訳）。
- 2005 Chairpersons' Reports : Asian Art History Session, *Transactions of the International Conference of Eastern Studies*, No.L, December, 2005.
- 2006 “From the New Director of RICAS,” 明日の東洋学 *RICAS Newsletter*, March 2006 no.15, The Research and Information Center for Asian Studies.
- 2006 「追悼 川上涇先生」『東方学』第112輯，139-140頁，東方学会，2006年7月。
- 2006 Chairpersons' Reprt : AsianArt History Session, *Transactions of The International Conference of Eastern Studies*, No.L I ,pp.164/173, The Toho Gakkaki (The Institute of Eastern Culture, December, 2006.
- 2006 「中国絵画：模本か？偽作か？擬古作か？真跡か？」『第34回 美術講演会講演録』東京：鹿島美術財団，2006年11月15日，37-62頁。
- 2007 （白適銘訳）「院中名画」——從董羽，巨然，燕肅到郭熙——『藝術学』台北：国立台北藝術大学美術史研究室，23，229-308頁，2007年9月（論文1981「院中の名画——董羽・巨然・燕肅から郭熙まで——」の中国語訳）。
- 2008 「東洋学研究情報センター：過去10年，未来10年——序に代えて」東京大学東洋文化研究所編『アジア学の明日にむけて』東京：白峰社，2008年3月，vi~vii頁
- 2008 「漢学者 米山寅太郎先生」『漢文教室』東京：大修館，2008年5月，第

東洋文化研究所紀要 第163冊

194号, 26-27頁。

2008 「恩師 鈴木敬先生」『東方学』第116輯, 235-236頁, 東方学会, 2008年7月。

2009 「五代・北宋絵画の透視遠近法——伝統中国絵画の規範」『美術史論叢』25, 25-60頁 (論文2007「五代・北宋絵画的透視遠近法——中国伝統絵画的規範」の日本語原文)。